

令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月10日（月） 午後2時から4時

2 場 所 藤枝西高校 会議室

3 参加者

会 長	鈴木 尚夫	元公立中学校長
副会長	高橋 仁	静岡産業大学教授
委 員	中西 康人	西益津地区支部長
委 員	伊東 邦雄	「日知塾プロジェクト」コーディネータ
委 員	天野 恵	令和6年度PTA副会長（欠席）
校 長	竹村 祐	
副校長	和田めぐみ	
教 頭	秋月 竜也	
事務長	岩本 倫明	
教 諭	高橋 良郎	総務・図書課長
教 諭	大村健太郎	教務・情報課長
教 諭	東 博倫	生徒・保健課長
教 諭	藤田真由美	進路課長

4 内 容

(1) 校長あいさつ（竹村校長）

- ・学校の概況伝達（2年生の沖縄修学旅行、オンラインでの式、進路概況）
- ・県立高校の在り方に係る地域協議会の状況（志太榛原地区は3/26に実施予定）
- ・給特法の改正、まずは今後5年間で時間外30時間程度を目標とすること
昨年度から管理当番の時間を縮減したが、今後も働き方や業務点検を重ねる
- ・2/18から願書受付、中学校には本校への理解と魅力を伝えてきた
- ・同窓会に暑熱対策費として外部体育館使用等の補助をいただいた

(2) 学校自己評価について・資料説明（和田副校長）

(3) 各課説明

ア 教務・情報課（大村課長）

- ・インフルエンザによる学級閉鎖にはならなかったが不登校は増えた
- ・学習時間の生徒の目標達成は40%を切る状態となってしまった
保護者の見立てとは乖離がある、課題が少ないとの意見もあった
- ・ICTを効果的に利活用している割合73.8%
Chromebook納入時期が早いと活用が進む、来年度はiPadで改善を図る
- ・教員への効果的な研修を実施していく

イ 総務・図書課（高橋課長）

- ・校内行事ではインフルエンザの流行等により実施方法を検討する必要に迫られたが、臨機応変に対応した

- ・警報への対応は生徒の理解度が低く防災訓練で認識を深めた
- ・アンケートでは朝読書が有効であるとの回答が多かった
読書感想文コンクールに入賞するなど成果もあった
- ・保護者からは授業の配信等の要望が出ているが参観日の充実で対応していく
- ・CS(コミュニティ・スクール)事業は自由参加となり参加率が若干下がったが、継続参加の生徒もいる

ウ 生徒・保健課（東課長）

- ・高い規範意識や自己肯定感を育む特別支援教育の理解促進を目標としてきた
- ・保護者からは生徒・教員間のコミュニケーションや相談体制の更なる充実が求められていることがわかった
- ・R7から部活動への全員加入を取りやめ任意加入とする
- ・授業のユニバーサルデザイン化を進めていく
- ・今年度は相談室の利用率が高く長期欠席につながっているため、不安解消に努めていきたい
- ・いじめ等が発生した場合、速やかに対応できる体制を目指す
- ・CS活動を運営する委員会(生徒対象)を新たに設置する

エ 進路課（藤田課長）

- ・入試の形態が変わってきていることを鑑み本校に合った指導を検討してきた
特進クラスの在り方、多様な進路への対応は引き続き検討していく
- ・家庭との連携について目標達成はできなかったため来年度重点化する
進路だよりは保護者向けにも発信していく
- ・模試の在り方についても見直し、生徒が思い描く卒業後の進路実現に向けて
検討していく
- ・78名が進路決定している

(4) CS事業実施報告（秋月教頭）

- ・延べ参加人数は、日知塾84名、はばたき学習室41名、花いっぱい104名、W(ウォーキング)サッカー79名
- ・Wサッカーの一般参加者が少なく、サッカー協会等に依頼して増やしていく
- ・生徒の自主性を重んじて自由参加にしたところ参加者が減少したので、継続して参加してもらうよう工夫する
- ・分掌で関わってもらっていたが生徒が自主的に参加できるようにしていく

(日知塾について伊藤委員から)

- ・今年度からPTA委員の参加がなくなり、委員が担当していた小・中学生の受付と記録簿の記載を高校生に依頼したが、それによって生徒に主体性が芽生えた
- ・終了19:30にしたが防寒対策は必要、今年は時間調度で帰宅する生徒が多かった

(5) 協議・意見交換（鈴木委員長）

【評価点の集計】

ア 人間性の育成…A B A A→A（伊東、中西、鈴木、高橋委員の順・以下同じ）
（伊東委員）

- ・日知塾で関わる生徒は話をよく聞いてくれる、感じが良い

主体的に動くことでやりがいを感じているのでは

- ・学校行事で生徒から教員に訴えかけていくことが必要

(鈴木委員長)

- ・ボイスシャワーが人間性育成に効いている

(中西委員)

- ・地域の祭りで接した生徒は素直で挨拶が大きかったので達成感はある

(高橋委員)

- ・沖縄への研修旅行は継続してもらって良かった

イ 学力の定着… B A A A → A

(伊東委員)

- ・高校進学時の学習の躓きや記憶力の問題に対応するため、生徒に自分の課題を理解させると良い→授業改善も大事だが課題を科学的に克服するための手段も必要

(鈴木委員長)

- ・教員相互の授業参観などによってスキル等を吸収しようとする意欲が指導力につながると思う

ウ 進路目標の実現… B A A A → A

(伊東委員)

- ・小学生から将来の目標を立てさせるが本当の意味で目標を立ててはいない
こんな大人になりたい、目標を想起させる具体的な対策が必要

(中西委員)

- ・専門学校へ進みたい等、行きたい方向性は出しているのではないか

エ 信頼される学校… A A B B → A

(鈴木委員長)

- ・多忙化等への対応は前提となる枠組み、元のスキームを解消しないと解決しない

オ 地域との連携… B B B A → B

(高橋委員)

- ・C S 事業を継続しているところは評価する

(中西委員)

- ・こども食堂に高校生ボランティア 2 名が参加いただいているが、もっと参加を増やしたい

(鈴木委員長)

- ・大体達成されている 各分掌課長の説明に対し感謝する

(6) 来年度の方向性 (竹村校長)

- ・今年度とほぼ同様、大きく変える必要がない

(7) 来年度の学校運営協議会委員について (竹村校長)

- ・運営協議会委員については男女比や増員を含め検討していく